

Geographical Description No.57 「都市計画と再開発」 GEO. P.142,143

今回QRコードは一部のみとしました。

1 さまざまな都市計画 → 時々街路に関する問題が出題されるがパターンは5つ。

パリ 道路は凱旋門から放射状になっている。そこからコンコルド広場まで広がる大通りがシャンゼリゼ通り。 <https://bit.ly/37iltvb>



ちなみに上の反対側にあるのが再開発の拠点である。ラ・デファンス <https://qrqo.page.link/SLqif>
パリの中心部は伝統的な建物があるため建物の《A》は進んでいない。
→ 《A》として建設された建物があるのは中心地ではなく郊外という点が
東京などと違っているのでよく出題される。上記のGoogle Earthの3Dで確認して欲しい。

ニューヨーク <https://bit.ly/37igoUG> や、ワシントンD.C. <https://bit.ly/2AbAXq1>
は、《B》といわれる。直交する道路とそれらの対角線を結ぶ道路が組み合わさって出来ている。京都、奈良、東京の下町は直交路だけど、対角線の道路はないはずです。

北京 かつての城内の道路は直交路だが街全体が四角い《C》で囲まれている。
<https://bit.ly/30vLy9Q> 北京のGoogle Earthでは城壁を確認するのは難しいが、紫禁城を大きく取り囲むような四角い道路網はわかるはずです。

直交路 京都、奈良は古い時代につくられた直交路。
札幌は明治以降に何もなかったところに街を作った新しい時代の直交路。
東京の下町は1923年の関東大震災後の後藤新平による都市計画によってできた直交路である。→ こういう時代の変化を知りたい時は「今昔マップ」
<https://qrqo.page.link/nhxVZ>



迷路状 なんとといってもアルジェリア・アルジェにある《D》がその典型例。
→ 確かにこれは迷路のようだね。でも車が入ってこられないから、発展から取り残されているかんじだね。 <https://qrqo.page.link/Iq6PW>



2 ロンドンの都市計画と再開発

ハワード(1902年) 「明日の田園都市」
「ロンドンという環境の悪い所(当時は石炭だったからsmogがひどかった)に住んでちゃだめ。郊外の空気の綺麗な『Garden City:田園都市』で暮らそうよ!!」という内容。でも、このサイトを見てみると、建築学部を出た都市計画の専門家ではなかったみたいよ。 <http://drowbypen.com/wp01/eh/>

→ 最初に建設された都市 《E》
<https://qrqo.page.link/zgTrG> → 日本でいう「ニュータウン」というより、高級住宅地という雰囲気



→ その次に建設された都市 《F》
是非「ペグマン」押してストリートビューで家々や街並みをみてね!!
<https://qrqo.page.link/NrLcS>



阪急グループを率いた《G》
まず土地を購入し、そこに線路を敷設して土地の価値を高め、高値になってから売却するというビジネスモデルで大儲けした関西の財界人。小林のビジネスについては、 <https://qrqo.page.link/mg5q9>
このGoogle EarthのProject機能をご覧ください。
→ 小林はなかなかのアイデアマンで、朝の通勤時間帯のガラガラの下り電車の需要を作り出すために、鉄道の終点の宝塚に宝塚歌劇や遊園地(現在は廃園)を作るなど、



日本の私鉄経営の基礎を築いた。

→ 関東の私鉄も、これを真似て郊外に遊園地を作ったり、近年では大学の誘致に尽力している。

1922年 《H 》 洗足田園都市を開発 → 1923年 田園調布を開発
当時としては極めて不便なこの地域への足として開通したのが、現在の東急電鉄。

洗足、田園調布での宅地開発に成功した東急グループは、戦後神奈川県での大規模な「田園都市」の
開発に乗り出した。この時開通した鉄道が現在の東急・田園都市線である。

1944年 まだナチス・ドイツが降伏する前に戦災を受け、また戦争以前より環境が悪化していたロンドンの
再開発計画である《I 》が立案された。

↓
大まかな構造 内部の旧市街地 — 郊外地帯 — 《J 》 — 周辺地帯

周辺地帯にある既存都市を拡張するとともに、《K 》を作った。

↓
英のNew Townは、日本のそれとは違い《L 》型とし、通勤をなくす努力がなされた。
日本もそれを目指したかったのだが、戦後の都市への人口集中の速度が速すぎて時間的なゆとりがなく
できなかった。 → 多摩ニュータウンは所謂「ベッタウン」であり、通勤問題は解決できなかった。

[補足] 実は東京にも「東京緑地計画」があったんですよ!! その時用地買収した
「緑地」を利用して、小金井公園や野川公園、武蔵野公園ができたのです。

https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/keikaku_chousa_singikai/pdf/tokyotoshizukuri/2_07.pdf



ロンドン都心部の再開発の事例として有名なのが《I 》。

<https://qrgo.page.link/GFXL> → かつての造船所は、金融センターとして再開発された。



→ かつてのイギリスの造船業の世界シェアはすごいものがあった。

本川裕氏の「社会実情データ図録」<http://honkawa2.sakura.ne.jp/index.html>内のこの
<http://honkawa2.sakura.ne.jp/4750.html> のページを下の方に「世界の造船建造量シェア推移」
という極めて優れた図版があるので、絶対に確認して欲しい。日本が中国と韓国に
追い上げられている、つまりかつてのイギリスのような感じになっている。



☆ 日本でも造船所の跡地が再開発されている。豊洲 → ららぽーと <https://bit.ly/2UwS8ZX>
横浜 → みなとみらい <https://bit.ly/3feWJaX>

→ 日本の場合はいずれも商業施設:ショッピングモールへの転用であって、ロンドンのように金融セン
ターではない。これは推測でしかないのだが、日本の場合開発主体が国や自治体等ではなく、民間
企業と不動産ディベロッパーだからかもしれない。

3 ジェントリフィケーション: Gentrification

《M 》やスラム等の居住環境の悪い地域が文化活動や再開発によって高級住宅
街化することを《N 》という。

→ 有名なのはニューヨークのソーホー地区。廃倉庫などを芸術家のギャラリーなどに転用したことで、
治安の悪かった地域はおしゃれな街となり、高級住宅街化した。

→ 工場しかなかった豊洲は、今やタワマンが林立しおしゃれな街として有名だ。
武蔵小杉もかつては単なる工場地帯だったが、その跡地にタワマンが建っておしゃれな街の仲間入りを
果たした。これら事例は、日本における《N 》といえるだろう。

→ しかし急激に人口が増加したため、小学校の定員がオーバーし、急きょ小学校を増設するといった問題
が発生している。増設した小学校は数年したらお払い箱になることが決定しているので、財政的には
無駄以外の何物でもないのである。

4 東京周辺の再開発

貨物列車用の操車場(大宮、新鶴見、汐留)の跡地などが再開発されている。

5 大阪周辺の再開発と町並み保存

大阪の湾岸地域の場合、工場や倉庫の跡地が開発された事例は少なく、多くは埋立地が開発されている。よって「再開発」というタイトルは正しくないって思うんだけど……。でも最近大阪駅の北にある梅田貨物駅が再開され、現在建設中である。

GEO-EYE コンパクトシティー

高齢化、人口減少社会に対応すべく、自動車での移動を前提とする地誌計画ではなく、路面電車＝《O》を中心に徒歩で歩ける範囲の街づくりを目指した。

→ 《P》や青森などが有名。

《空欄の答》 A 高層化 B 放射直交路 C 城壁 D カスバ E レッチワース

F ウェリンガーデンシティー G 浜松 H 富士市 I 大ロンドン計画 J グリーンベルト

K ニュータウン L 職住近接 M 工場地帯や倉庫街 N ジェントリフィケーション O LRT

P 富山